

第1回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

会議名称	第1回米沢市農政審議会
開催日時	令和6年6月21日（金） 午前10時00分から午前11時40分まで
開催場所	米沢市役所 庁議室
出席者	会長 大和田 浩子（山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部長） 副会長 小関 善隆（米沢市農業委員会 会長） 委員 二宮 啓一（米沢平野土地改良区 理事） 委員 鈴木 巖（山形県農業共済組合 理事） 委員 大竹 茂（山形おきたま農業協同組合 米沢地区総括理事） 委員 佐藤 政和（米沢市認定農業者会議 会長） 委員 安部 憲一（米沢市農業振興組合長会 会長） 委員 石塚 久子（米沢市消費生活研究会 会長） 委員 我妻 拓也（青年農業士） 委員 佐藤 修一（米沢青果株式会社 代表取締役社長） 委員 齋藤 義浩（置賜総合支庁産業経済部 農業振興課長） 委員 山下 亨（置賜総合支庁産業経済部 農業技術普及課長）
欠席者	委員 加藤 英樹（米沢商工会議所 会頭）
事務局出席者	米沢市長、産業部長、農政課長、農政課長補佐、農政課米沢牛振興室長兼畜産主査、農政課農政主査、農政課農産主査、農政課主任（農政担当）、農政課主事（農政担当）
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 会長・副会長選任 5 会長挨拶 6 諮問 7 協議 （1）審議会及び会議録の公開・非公開について （2）（仮称）第2次米沢市農業振興計画の策定方針について （3）本市農業の現状と課題について （4）意見交換 （5）その他 8 閉会
会議資料	次第、米沢市農政審議会設置条例、米沢市農政審議会席次表、米沢市農政審議会委員名簿、審議会及び会議録の公開・非公開について、（仮称）第2次米沢市農業振興計画の策定方針について、（仮称）第2次米沢市農業振興計画策定作業部会実施概要、（仮称）第2次米沢市農業振興計画策定に係るスケジュール（予定）、本市農業の現状と課題について、【別冊資料】農業経営に関する意向調査の結果について
会議内容	
【1～3、5、6】省略	
【4会長・副会長選任】 米沢市農政審議会設置条例第4条第1項の規定により、会長及び副会長を委員が互選。会長に大和田委員、副会長に小関委員が選任された。	

第1回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

【7 協議】

(1) 審議会の及び会議録の公開・非公開について

事務局から資料P. 4に基づき説明があり、事務局案のとおり、会議は原則公開、会議録は要点筆記、審議会の会議録及び配布資料は原則公開することが承認された。

(2) (仮称) 第2次米沢市農業振興計画の策定方針について

事務局から資料P. 5、6に基づき説明があり、意見、質問なし。

(3) 本市農業の現状と課題について

事務局から資料P. 9～12に基づき説明。

(4) 意見交換

今後の農業の展望又は専門分野と農業との関わり等について、意見交換を行った。

主な意見は次のとおり。

- ・山間部において、非農地判断をしなければならない場所が増えている。
- ・鳥獣被害のため、耕作をやめたという話がある。
- ・農地を貸したい人はいるが、借りたい人がいない。
- ・まとまった農地、整備がされている農地を借りたいと考えている人が多い。
- ・農地を整備し、借りたいという人に貸していくことが大事。
- ・農地の相続放棄が増え、賦課徴収するのが困難となる。
- ・法人化した団体が破産する事態も起きている。
- ・高齢化・担い手不足であり、担い手の確保が課題である。
- ・山間部は条件不利地であり、残っている人でがんばろうにも体力・経済面で難しい。
- ・地域にあったものを作付けし、需要があるかを考えるとともに、中山間には、治水・多面的という役割があるので大事にしていきたい。
- ・採算ベースにのらない。もうからない。消費者の理解を得て、いいものは高く売ることが必要である。
- ・山間部では、耕作放棄地を出さないということを目指している。
- ・山間部では、鳥獣対策をしなければならないことがネックになっている。
- ・若者が希望を持って、次の世代に繋いでいけるような農業のあり方を確認していきたい。
- ・山間部と平野部で不平等が生じている。利益にならないものには手をかけたくないという意識を変えていく必要がある。
- ・山間部の努力に目を向けなければ米沢の農業というものがおかしくなっていく。
- ・労働力確保の観点から外国の方が日本に移住し、農業を続けてもらえるよう「育成就労制度」を活用できないか。
- ・米沢市の若い人（担い手）には限界がある。空き家を利用し、県外の人を呼び込むのはどうか。
- ・「農業は大変だ」、「もうからない」と言っていたら、若い人はもうからないことをやらないと思うので、その言葉を使わない方がよいのでは。
- ・新規就農者に手厚い支援があるといい。水田をしようにも機械に多額の費用がかかる。
- ・農家だけでなく日本の産業の問題でもある。作る人、売る人、消費者も少なくなっている。
- ・産地化をして、よそに売ることをしないとお金にならない。
- ・園芸作物で儲かっているものもある。お金になる農業を作っていくのが大事。
- ・農業労働力確保の観点から、一時的な労働力不足に対応するため、県では、デイワーク（マッチングアプリ）を推奨しており、その利用状況をみると、米沢市の労働力が市外で活用

第1回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

されている結果となっている。これを解消していく方法を考えていってはどうか。

- ・米沢牛につぐ、農産物のブランド化が大切である。
- ・食に関心を持つ人を増やしていくことが重要である。

(5) その他

事務局から資料P. 8に基づき今後のスケジュールについて説明。

【8 閉会】